

9/21
Sat



講演 「求む！皆さんの起業家精神」・ 「ビジネスプラン作成のポイント」

少子高齢化・人口減少が進む社会に活力を与えるのが、女性達の起業家精神です。起業家精神とは、激変する社会でどんな商品・サービスが求められているのか、事業機会をとらえ、積極性と挑戦心をもって、新しい事業を立ち上げようとする心意気です。では、女性達の起業家精神が、なぜ今、重視されるのでしょうか。我が国経済・社会が抱える課題、開業動向の国際比較、そして女性起業家の特徴について報告し、皆様のチャレンジ精神にうったえたいと思います。

講師・審査員 加藤敦 (かとう・あつし) / 同志社女子大学現代社会学部教授
東京大学卒業後、民間会社勤務を経て現職。専門は経営学(起業・中小企業論)。博士(国際経営学・青山学院大学)。近年は地域社会の起業創発について、女性、情報化をキーワードに研究に取り組む。起業・中小企業研究国際評議会(ICSB)の日本支部副委員長を務める。主要論文として「女性リーダーが鼓舞する地域のチャレンジャー精神」、著書『商工金融』などがある。

「本セミナーのねらい」



本セミナーのねらいは女性起業家育成支援です。当セミナーの講師陣は、熱い思いをもち、それまでになかった価値を創出するために失敗を恐れず積極的に行動し、競争優位の地位を確保してビジネスを成功させてこられた女性社長さんたちです。そのような講師の方々のお話は、皆様に一步前に踏み出す勇気を与えてくれることでしょう。また、セミナー最終回のビジネスプランコンテストは、グループで協力してクリエイティブに挑戦してみましょう。皆様との活動を楽しみにしています。

コーディネーター 三宅えり子 (みやけ・えりこ) / 同志社女子大学現代社会学部教授
同志社女子大学卒、スタンフォード大学大学院教育学部博士課程修了(Ph.D)。専門分野は教育とジェンダー、リーダーシップ。近年は、アメリカ、台湾、韓国の大学におけるリーダーシップ・起業家育成の研究および女性起業家研究に従事。著者に『アジアのなかのジェンダー第2版』(共編者)ミネルヴァ書房、*The Dean in the University of the Future* (分担執筆) Rainer Hampp Verlagなどがある。

9/28
Sat



講演 「『ないなら作ればいい!』母としてのニーズでつくった英語保育園」

出産後、我が子をバイリンガルに育てたいという想いがありましたが当時のインターナショナルスクールは両親が英語を話せないと入学が難しく、英会話教室では物足りない。日本の子どもが英語環境の中で学ぶ場がないのなら、自分で作ればいい。そんな発想がキンダーキッズ設立の原点でした。現在に繋がった過去の経験や経営者としての自分への約束について、お話しします。

講師・審査員 中山貴美子氏 (なかやま・きみこ) / 株式会社キンダーキッズ代表取締役
大学卒業後、カナダ留学の経験を活かし英会話スクールで営業・運営を担当。結婚・出産を経て、自身の子どもに英語を学ばせたいという想いをきっかけに、2000年に英語保育園「株式会社キンダーキッズ」を設立。日本人としてのアイデンティティーをしっかりと意識しながら、国際的な広い視野と高い英語力を持つ子どもの育成を目標に国内21校、海外3校を経営。

10/12
Sat



講演 「ぬいぐるみ病院 — 優しさの極み・本物の愛の会社への挑戦」

500円のぬいぐるみを3万円以上かけて弊社・株式会社ころ・ぬいぐるみ病院で治療するために2年待つお客様たち。愛に満ちた世界、優しさの極みと日本中、世界中から応援をいただくぬいぐるみ病院を経営しています。何故、ぬいぐるみ「治療」の申し込みが殺到するのか?その秘密、また、愛しくない世界を守るための決意と覚悟についてお話しします。

講師・審査員 堀口こみち氏 (ほりぐち・こみち) / 株式会社ころ代表取締役
愛媛県生まれ。大阪医療秘書福祉専門学校医療秘書科卒業後、社会に出た後、同志社大学文学部国文学専攻に入学、卒業。その後勤めた医療機器メーカーの社内でぬいぐるみのネットショップをオープン、4年後独立起業。現在は26名のスタッフと共に、新しい挑戦をし続ける、株式会社ころ代表取締役、ぬいぐるみ健康法人もふもふ会ぬいぐるみ病院の理事長。

10/19
Sat



講演 「企業理念は変えず、お客さんのニーズを汲んだ新規事業のアイデアと実行」

お小遣い5万円で自宅育児をしながら抱っこひも収納カバー専門店を起業し、ママ雇用50名以上を創出。本講演では、想いや本質は変えずに新規事業を生むアイデアと実行する方法や、お客さんと成長していく新しいSNSの集客方法、リアル店舗とネットショップの活用(オムニチャネル)についてお話しします。また、起業を通してできる社会貢献や、経費をかけず、楽しく継続黒字を出す、女性ならではの経営方法、そして夕方16時退社、ショップは週2日営業でも利益が出せることなど、参加される方がすぐに実行できることからお話しします。

講師・審査員 仙田忍氏 (せんだ・しのぶ) / 抱っこひも収納カバー専門店株式会社ルカコ代表取締役
2013年子どもが2歳と4歳の時に自宅にて5万円で起業。自分の困り事「抱っこ紐だらーん」を解決する商品を自ら企画、縫製しネットショップで販売。子どもがいても働きやすい環境(時短)を、とママの募集をしたところ70名以上の応募があり30名以上の雇用を生む。ブランディングにこだわり丁寧な縫製と対応のオリジナルの商品で百貨店、TSUTAYA BOOK STORE 梅田MeRiseなどで取り扱い。実店舗の運営は週2日営業でも黒字化。新規事業もスタートさせている。

12/15
Sun



「ビジネスプランコンテスト」

審査員長 川村信子氏 (かわむら・しんこ) / 株式会社カウカウフードシステム・マダムシンコ(創業者)代表取締役会長
鳥根県出身。厳しい家庭環境に反発して20歳より喫茶店を自営。実業家としての頭角を現す。不動産、高級クラブ、貴金属などの販売を経て、東京銀座に「銀座シンコ」をオープン。政財界、スポーツ界などの大物とも親交が深い。その後、帰阪して焼肉店を始め飲食業を中心に事業を展開、現在に至る。竹を割ったようなはっきりとした性格で、周囲からの信望も厚い。食べることが好きで、人と接するのが好きで飲食業は天職。自伝『やまない雨はない』(KKロングセラーズ)が映画化され、2017年に公開された。

賞金 ビジネスプランコンテストでは次の賞を決定し、グループに授与します。
「起業アイデア大賞」(記念品と副賞3万円) 「起業アイデア奨励賞」(記念品と副賞1万円) 同志社女子大学 女性アクティベーションセンター